

県岐商 だより

No. 83

THE KEN-GI-SHO SENIOR-HIGH PRESS

○発行所 岐阜市則武新屋敷 岐阜県立岐阜商業高等学校PTA <http://www.kengisho.ed.jp/>

岐阜県高等学校商業達人カップ R5.12.26



お子様のご卒業、心からお祝い申し上げます。子どもの成長を見守り続けてきた親にとって、卒業式は本人以上に感慨深いものがあります。小学校入学、身体より大きなランドセルを背負い、通学路を年長者に連れられ小さな足で歩んでいたあの頃。中学校の授業参観、教室の後ろで我が子の姿を見つけると、恥ずかしそうに下を向いていたあの頃。15歳の春、胸に夢と希望をときめかせながら、県岐商の校門を通ったあの日。いつしかあの時の我が子が、こんなにも凛々しく立派に成長し、本日、着慣れた学生服のボタンをはずし、制服を脱ぐとともに、その時々々の出来事と想いを書き綴ってきた「高校日誌」も最後のページとなりました。



この「高校日誌」には、親子の「つながり」、具体的には、日常生活における奮闘と葛藤が綴られています。健康を気遣いながら早朝のお弁当作り、登下校の送り迎え、病気や怪我の時の看病、「おかえり」「ただいま」という日常。勉強、友人、進路など、親子で衝突し、言うことを聞かない我が子に腹を立て、悩み、困惑された時。また、時には我が子の成長に眼を細め、笑顔で喜びあい、我が子が辛い時には、自分の痛みとして享受し、肩を抱いて励ましあったあの時。常に我が子を見つめ、愛情を注いでこられた日々に対して、深甚の敬意を表します。そして、「我が子には幸せになってほしい」と願うのは、いつの時代も変わらぬ親の想い。本日は、保護者の皆様にとっても、卒業式であります。

ところで、内閣府が提唱する「すぐその未来」という動画サイトがあります。超スマート社会「Society5.0」と言われる近未来を生きる女子高校生の生活が紹介されています。ネッ

ト注文していた靴がドローンで配達。冷蔵庫内の食品を知らせ、お勧めレシピを告知。登校途中に無人のトラクターが畑を耕作。朝スマホで注文していた昼食を、最寄りのスーパーで受取り。バス停へ出向くと無人のバスが来車。一見、とても便利な社会に見えますが、どこか寂しく殺伐とした感覚を受けます。なぜか?人が登場しないからです。私たちが最も喜びや豊かさ、温かみを感じるのは、人と人との「つながり」のような気がします。希薄となっていく現実空間の「つながり」と、一方で、日々浸透する仮想空間の「つながり」を印象付ける動画です。時代がどんなにデジタル化されても、人の心はアナログであり不変です。どんなにAI やロボットが台頭する時代が来ても、親子関係と

高校日誌と「つながり」

校長 村山 義広

同様に最後はモノではなく人との「つながり」です。本校の学び舎を巣立っていく卒業生諸君には、人を大切にする社会を築いてほしいと切に願います。人と人との間

には、「壁」を築くのではなく、「橋」をかける人になってほしい。その「橋」こそが、「つながり」、そして人生を豊かで彩りに満ちたものにしてくれるはずです。

青春の時期に、親子として過ごした時間、「つながり」が記されている「高校日誌」。これも5年、10年という時が、想い出をセピア色へと変えるでしょう。将来、ふとページをめくる時、二度と戻らない高校時代の日々が蘇り、親子で胸を熱くするに違いない。本校での幾重もの「つながり」が、たとえセピア色に変わろうとも、すぐに高校時代にタイムスリップし、往時の色合い、輝きを取り戻すに違いない。親子の「つながり」はそういうものだから…。

目次

高校日誌と「つながり」(校長).....	1
「明けない夜は無い、止まない雨もない」(PTA副会長).....	2
令和5年度 PTA活動報告.....	2
PTAの広場(各学年会員).....	3
はばたきの羽音(卒業生各クラス代表).....	4
本年度の進路状況と求められる力(進路指導部長).....	5

令和5年度各種検定合格者数.....	5
令和5年度「学校長賞」受賞者.....	6
令和5年度「PTA表彰」受賞者.....	6
商業って楽しい!!.....	6
編集後記(研修活動委員長).....	6

『明けない夜は無い、止まない雨もない』

PTA副会長 若松 英彦



保護者の皆様、卒業生諸君、ご卒業おめでとうございます。三年前の春、合格に歓喜し伝統ある県立岐阜商業生となりました。

思えばコロナ禍に始まった高校生活、毎日のマスク着用や検温。マスクを外した姿に、『あっこういう感じ?』なんて思ったこともあったでしょう。そんな中、規制緩和も行われ修学旅行に行くことができ、文化祭も開催することができました。我々PTAの活動としましても大学見学会、各部活動の応援や会合等が再開されました。文化祭に於いてはバザーを3年ぶりに開催し、だんご、カレー等の販売を行いました。3年ぶりということもあり不安要素ばかりでしたが、保護者の方々のご協力の元、無事終えることができました。当日見せてくれた生徒諸君の笑顔に我々も報われた気持ちになりました。様々な行事の開催に当り各方面への調整等ご尽力頂いた学校関係者の皆様方、PTA活動へのご理解ご協力を頂いた会員の皆様方へ、改めてこの場をお借りし御礼申し上げます。

規制に始まり、厳しかった校則や授業、検定の準備。部活動では朝夕に土日祝日を返上して目標に向かって打ち込み、不撓不屈、百折不撓の精神を、その身をもって学ばれたことと思います。

本日あなた方は、県立岐阜商業の卒業生というブランドの翼を身に着けて羽ばたきます。

これから長く続く未来には、楽しいことも有れば苦悩に震えるときも有るでしょう。そのようなときは『明けない夜は無い、止まない雨もない』そう思ってください。社会に出ると乗り越えられないと思う様な困難にも遭遇します。そのようなときは思い出してください。その翼の存在を、ここに友と過ごした三星霜、一人で耐えようとしたり抱え込んだりせず、周りを頼って下さい。同じこの学び舎を卒業した仲間を頼って下さい。先輩方を頼って下さい。そうです、ここには120年の歴史が有るのですから。

令和5年度 PTA活動報告

①本部役員

- ・令和5年度PTA入会式(入学式)
4月10日(月)
- ・令和5年度PTA定期総会
5月1日(月)
- ・本部役員会、執行委員会
- ・HR委員会、常任委員会
5月19日(金)
- ・東海地区高等学校PTA連合会 岐阜大会
6月16日(金)
- ・岐阜県高等学校PTA連合会 岐阜地区連絡協議会
7月6日(木)
- ・全国高等学校PTA連合大会 宮城大会
8月24日(木)～25日(金)
- ・岐阜県高等学校PTA連合会 PTフォーラム大会
10月30日(月)
- ・各部活動における県・東海・全国大会応援
- ・PTA表彰
2月29日(木)
- ・卒業証書授与式
3月1日(金)

②生活指導委員会

- ・交通安全指導 学校周辺の交差点 8:00～
7月11日(火)・12月12日(火)

・人権講話

- 11月9日(木)
映画「水上のフライト」鑑賞

③進路指導委員会

- ・PTA大学見学会 参加人数 57名
6月16日(金)
愛知淑徳大学 星丘キャンパス
名城大学 天白キャンパス

④特別活動等委員会

- ・PTAバザー
10月26日(木)
カレーライス・焼きそば・フランクフルト・団子
特別活動委員、有志、本部役員

⑤研修活動委員会

- ・「県岐商だより」No.81,82,83 発行

⑥支部委員会

- ・支部長合同会議
5月19日(金)・1月18日(木)
- ・地区別懇談会及び各支部総会
6月30日(金)～7月14日(金)
- ・支部合同送別会(本校体育館で実施)
3月1日(金)

変換期となった一年

1年生会員 清水 信道

令和5年12月10日さいたまスーパーアリーナにて開催されたマーチングバンド全国大会において県岐商吹奏楽部は当部史上最高得点をあげ、金賞そして編成別2位という成績を収めることができました。そして、その舞台上に息子も立たせて頂くことができました。

息子は小・中学校とバスケットボールに打ち込んでいましたが、高校入学後、一変して、楽器未経験者でありながら吹奏楽部に入部し現在に至ります。

もともと県岐商を目指したきっかけは、受験勉強中心で高校生活を終えるよりも、勉強以外でも充実した高校生活を送り、かつ大学へも進学して楽しみたい、という贅沢な考えからでした。新型コロナの影響により様々なイベントや部活動が制限され、精一杯楽しめなかったという心残りがあったのかもしれませんが。

「受験勉強しない代わりに部活に打ち込んでみたら…」という私からの提案により、息子が選んだのは吹奏楽部でした。

全国レベルの先輩達と同じ舞台上に立つため、厳しい練習や苦難を乗り越え、本番をやり遂げることができたのは、先生の熱い指導、何よりも後輩を気遣ってくれる先輩、そして、それらを必死でサポートする保護者やOB・OG方のおかげに他なりません。そういった、つながりの濃さも県岐商の強みのひとつであると実感しました。

コロナ禍により協調性や積極性を培う機会が減ったと感じていましたが、県岐商魂に触れることで、卒業する際にはコロナ禍のハンデを覆し、大きく成長してくれることを願っております。

新子育て四訓

2年生会員 青村 ひとみ

2. 3年前、こんな言葉を聞いた。

子育て四訓

1. 乳児の時は、肌身離さず
2. 幼児の時は、肌を離して手を離さず
3. 少年の時は、手を離して目を離さず
4. 青年の時は、目を離して心を離さず

子供の成長に合わせて、親と子の距離感が大事だと思った。

私はできていただろうか。

乳児の時は、たっぷり抱っこをしてあげていた。

幼児の時は、どこへ行くにも必ず手をつないでいた。

少年の時は、子供がやりたいと言うことは、どんなやらせてあげていた。すると、こんなに毎日忙しくして体は大丈夫なのだろうかと心配になり、少しの体調の変化も見逃さないようにと、自然と目を離さずができていた。

子供がやりたいことを思い切りやれるように、私にできることはサポートをすることなのだと、黒子に徹した。

そして青年になった子供は、自分の意見をしっかり持ち、自分の進む道を決めていた。

どんどん成長していく子供から『目を離して心を離さず』は、私には少し無理なようだ。この先の未来が気になって、とても目を離せそうにない。

4. 青年の時は、程よい距離から目を離さず、が私はいい。

PTA
の
広場

目標に向かって！

3年生会員 林 奈緒子

「県岐商の水泳部に入りたい!!」

そんな希望をもって中学時代、毎日の水泳や受験勉強に励み、無事合格！憧れの県岐商に入学し水泳部に入部することができました。

入学当初はコロナ禍で、オンライン授業、学校行事の縮小、マスク着用など不自由な生活の始まりでしたが、徐々に通常の生活に戻りつつあり当たり前前の大切さを実感いたしました。

あまり学校での出来事は語らない息子でしたが、修学旅行、文化祭、販売実習、部活動の大会など色々な体験や経験が息子の成長に繋がっていったのだと感じ取れることが多々あり嬉しく思います。

高校生活を送る中、目指したい進路が決まり、その目標に向かって更に文武両道に励み…というところまで聞いてはいいのですが、なかなか思うようにいかないときもありました。親としては応援することと見ていることしかできませんが、良い仲間や相談に乗ってくださる先生方のお陰で、自分に自信を持ち日々の積み重ねができたのだと思います。

先生方、先輩方、支えていただいた皆様には、本当に感謝しております。

自分の希望していた進路も無事に決まり、またこれからが始まりです。県岐商で培った3年間を糧として、新しい目標を持ち頑張っていってほしいと思います。

は ば た き の 羽 音

感 謝

3年A組 野口 百華

コロナ禍で当たり前の日々が当たり前ではないことを経験し、クラスの仲間との何気ない日常がとても幸せなことだと感じています。いろいろなことに感謝の気持ちでいっぱいです。3年間ありがとうございました。

このクラスでの思い出といえば、修学旅行と文化祭です。コロナ禍で宿泊研修がずっとなかった私にとって、仲間と一緒に楽しく笑い合いながら過ごした2泊3日の修学旅行は最高の思い出です。文化祭に向けてクラスのみんなでギリギリまで準備したお化け屋敷は好評で、アンケート結果1位となりとても嬉しかったです。共に頑張ってきた仲間や支えてくださった全ての方に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

B組クオリティー

3年B組 杉江 愛音

私たちのクラスはとても明るくて賑やかで仲良しです。2年生になり新しいクラスが始まったばかりの頃は不安でいっぱいだったけれど、明るく周りに声をかけてくれる子やクラスのみんなを笑わせてくれる子、みんなのために頑張ってくラスをまとめてくれる子がいたおかげで、今は毎日ずっと笑って楽しく過ごせています。このクラスで、球技大会や文化祭、研修や修学旅行などたくさんのイベントで大切な思い出がたくさんできました。英単語テスト後のじゃんけん大会や毎日の授業や昼休みも個性強めのクラスのみんなのおかげで全部楽しい思い出です。本当にずっと笑えばなしで楽しく幸せ過ぎる高校生活でした。ありがとう!卒業したくない…!!

笑売繁盛

3年C組 大野木 詞葉

思い返せば、幸せで特別な日々でした。皆やるときはやる努力家ですが、そこに隠れた強い個性がクラスの雰囲気をも明るくしていたと思います。異常なまでのレクへの執着や、不合格になった小テストの再提出の押し付け合い、月1回の席替えなど、日常の小さな出来事も皆でわいわい楽しんでいました。しかし文化祭の日は一段と団結力があつたのを覚えています。客席を埋めるためひたすら人に声をかけたり振付を確認し合ったり。緊張しながらも組んだ円陣には互いへの信頼感が伝わりました。校内評価では上位を勝ち取りましたね。3Cの皆と大西先生には感謝で一杯の毎日でした。

いつの日か、皆で集まってまた会える時がもう既に待ち遠しいです。

爆笑のD

3年D組 羽賀 夢華

D組の日常はとても穏やかだ。だからこそ、たまに発生する一つ一つの内容が印象に残る。

「ハーゲンダッツ」この言葉を合言葉にクラス全員が一致団結した球技大会。前日、ニンニクを食べ過ぎた一部の男子によるクラスへの臭い攻撃。トースターを学校に持ち込み、食パンを焼き始めたとある男子。柴田先生に「冷めてしまうから早く食べる」と言われた朝は、笑いで腹筋が壊れるかと思った。

D組は、互いの進路も自分のことのように応援し合い、日が暮れるまで学校に残り面接練習もした。こんな、温かいクラスのメンバーと過ごせたことはかけがえのない思い出だ。先は、まだまだ長い。この思い出を胸に、皆で羽ばたいていきたい。3年間ありがとう。

睡眠時間は4時間半

3年E組 大島 壱護

「睡眠時間は4時間半!!」これは、僕たちが1年生のテスト期間の時に、当時担任であった後藤先生の放った言葉です。初めてこの言葉を聞かされた時はとても驚きましたが、いつしかE組内のキーワードになっていました。感慨深いですね。僕個人が一番の思い出は文化祭です。1年生の時は、計画性の無さが仇となり、とても成功とはいえない形で終わってしまいました。しかし、その悔しさをバネにクラスが一丸となって取り組むことによって、カジノやメイド喫茶を大成功にまで導くことができたことが、現在の3年E組を形作っていると強く感じています。そんなクラスの一員として青春することができて良かったです。3年間をありがとう!!

我ががきよつか

3年F組 井藤 優実

F組をあえて一言で表すならば「個性」。その個性が不思議とぶつかり合うことも無く、調和されているのがこのクラス。皆に共通して言えるのはなんだかんだ出来る、ということ。テスト期間中に「全然わからん」「終わった」と言う割に平均点は高い。しかもおかしいくらいに各部活動の部長が集まるこのクラスでは、毎日笑顔が溢れている。スタジオや教室で遅くまで練習した岐商祭のダンス。皆も会場も最高に盛り上がった。

最高の思い出、最高の青春をこのクラスの仲間と作ることができて嬉しかった。3年間楽しかったです!ありがとう。我ががF組のティチャーズ! きよすけ ゆうすけ バンザイ!!

愛 組

3年I組 上野 寧音

I組では3年間、毎朝SHR前に電卓を計測しました。朝から電卓の音が教室に響いていました。毎日毎日簿記の学習をして、特編では1週間簿記になることも少なくありませんでした。最初はそれに慣れず、大変だと思ふこともありましたが、でも、そんな毎日みんなと過ごすうちに楽しく感じるようになりました。みんなが自分の夢や目標に向かって頑張っている姿を見て、私も頑張ることができました。大変だった日々も今ではいい思い出と言えます。共に支え合い、学び合うことができました。愛のあるクラスで笑顔溢れる高校生活を送れてとても楽しかったです。

3年間ありがとう!

みんな大好きJPクラス

3年J組 小林 凜人

J組はまさに笑いの絶えない日々でした。賑やかで明るい授業や、楽しかった席替えビンゴ大会、夜更かしした修学旅行、夜遅くまで自主練習をした球技大会など、もう来ないと思うと寂しくなってくるね(笑)。個性の強いJ組集団の3年間を担任していただいた先生には感謝しています。常に私たちのことを考えて行動してくれ、ふざけるときも真剣にやるときもいつも全力で接してくれた先生が大好きです。これからもこの先の人生も先生に教えてもらった人間力を生かして前に進みましょう。一緒に笑い、一緒に楽しみ、一緒に学ぶ、そんな高校生活をこのJ組で送ることができて、本当に良かったです。

最後はやっぱり、「3J最高!!」。

Fortune comes in by a merry gate.

3年K組 堀 早槻

コロナが収束することなく始まった高校生活。そこには自分が思っていたような生活がないばかりか、授業にもついていけず不安ばかりでした。しかし、日常生活をみんなと過ごしていくうちに、それぞれの個性を知り笑いの絶えない生活となっていきました。そして、たくさんの方の協力のもと実施できた海外研修。日本では経験できないことばかりで毎日が刺激的でした。慣れないことも多く、クラスのみんなの助けがあってこそその素晴らしい思い出です。個性豊かな人ばかりのK組。思い返してみれば、ずっと笑っていた3年間で自分が考えていた生活よりも遙かに楽しいものでした。3年間は長いようで短くかけがえのないものでした。みんなありがとう。



本年度の進路状況と子どもとの関わり方 進路指導部長

お子様のご卒業、誠にありがとうございます。本年度、卒業生のうち、進学者は279名(79.3%)、就職者は72名(20.5%)という進路状況となりました。

就職については、民間企業に58名、公務員14名が内定しました。特に、中小企業では高卒生の採用に積極的な動向が見られます。これは、大卒の総合職と同様な将来を考えて、最初は事務職で採用し、その後、様々な経験を積ませて将来の管理職候補として考えていると思われます。より優秀な人材を高卒で採用して、企業で理想の人材に育てていこうという思惑もあるようです。

進学については、国公立大学20名、私立大学201名、公立短期大学5名、私立短期大学8名、専門職大学1名、公立専門学校2名、私立専門学校42名という状況となりました。文部科学省の令和5年度学校基本調査によると、小・中学校の在学者数が過去最少となる一方で、高校卒業後の大学進学率は、61.1%と過去最高を記録しました。さらに過年度卒を含む高等教育機関への進学率は84.0%となり、今や進学するのが当たり前前の時代となりました。しかし忘れてはならないのが、高校までとは比較になら

ないほどの大きなお金が必要となることです。そのため、多くの学生が奨学金を頼りに進学しているのが実情です。

また「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」など、「一般入試」によらない多様な入試方法がますます拡大傾向にあります。進学先のアドミッションポリシーと自身の人物像を照らし合わせ、1回の学力試験ではなく、取得した資格や部活動での経験、探究活動での学びを生かして進学先を決定しています。この決定がゴールではなく、その先のキャリア選択を見据え、充実した人生を送るにはどんな学びが必要かを常に問いながら、自立し自分らしい人生の在り方を追求してほしいと願います。

子どもが大きくなるにつれ、会話が減り、言うことをきかなくなって、子どものかかわり方が難しいと感じる方も多いのではないのでしょうか。子どもの心の中に親が占める割合が減っていくのは、子どもが正しく成長している証でもあります。青年期は大変なことや辛いことを乗り越えていくための力を養う時期です。自分の考えをしっかりと、自分の力で行動できる子どもに成長するために、子どもたちのもっている可能性を信じる姿勢をもちたいものです。

令和5年度 各種検定合格者数 (令和6年2月14日現在)

<ul style="list-style-type: none"> ・税理士試験 <ul style="list-style-type: none"> 簿記論 12名 財務諸表論 8名 ・経産省 情報処理安全確保支援士 <ul style="list-style-type: none"> 1名 応用情報処理技術者 4名 基本情報処理技術者 8名 ITパスポート 4名 ・日商簿記 <ul style="list-style-type: none"> 1級 17名 2級 102名 3級 71名 ・全経簿記 <ul style="list-style-type: none"> 上級 6名 1級 6名 会計 13名 工簿 27名 	<ul style="list-style-type: none"> ・全商簿記 <ul style="list-style-type: none"> 1級 309名 会計 314名 原価計算 318名 ・全商財務諸表分析・財務会計・管理会計 <ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析 26名 財務会計 27名 管理会計 17名 3科目合格 17名 ・全商ビジネス文書 <ul style="list-style-type: none"> 1級 36名 2級 120名 ・全商ビジネス計算 <ul style="list-style-type: none"> 1級(そろばん) 2名 1級(電卓) 206名 ・全商情報処理 <ul style="list-style-type: none"> プログラミング1級 44名 プログラミング2級 29名 ビジネス情報1級 75名 2級 324名 	<ul style="list-style-type: none"> ・全商商業経済 <ul style="list-style-type: none"> 1級(2科目) 64名 2級(1科目) 114名 マーケティング 119名 ビジネス経済A 64名 ・実用英検 <ul style="list-style-type: none"> 1級 1名 準1級 1名 2級 34名 準2級 79名 ・全商英語 <ul style="list-style-type: none"> 1級 69名 2級 170名 ・全商1級3種目以上合格 <ul style="list-style-type: none"> 6種目 1名 5種目 27名 4種目 40名 3種目 101名 計 169名
--	---	--

令和5年度「学校長賞」受賞者

3年I組 伊藤 綾香 (簿記部)

令和5年度「PTA表彰」受賞者

運 動 系

	部 活 動 名	氏 名	年・組
1	硬 式 野 球	井 上 飛 鳥	3J
2	軟 式 野 球	土 田 愛 琉	3B
3	テ ニ ス 男 子	藤 井 良 太	3J
4	テ ニ ス 女 子	村 山 瑚 都	3A
5	ソ フ ト テ ニ ス 男 子	大 前 智 弥	3F
6	ソ フ ト テ ニ ス 女 子	堀 か え で	3C
7	サ ッ カ ー	高 橋 主 磨	3F
8	陸 上 競 技 男 子	吉 川 正 洸	3K
9	陸 上 競 技 女 子	堀 江 奈 央	3F
10	水 泳 女 子	野 々 村 日 菜 乃	3B
11	ハ ン ド ボ ー ル 男 子	藤 原 充 宏	3B
12	ハ ン ド ボ ー ル 女 子	河 合 永 恋	3B
13	バ レ ー ボ ー ル 男 子	高 田 篤 志	3F
14	バ レ ー ボ ー ル 女 子	冬 野 美 優	3K
15	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 男 子	東 野 亘	3C
16	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 女 子	横 地 莉 々 奈	3A
17	バ ド ミ ン ト ン 男 子	宮 内 輝	3E
18	バ ド ミ ン ト ン 女 子	遠 藤 愛 奈	3C
19	卓 球 男 子	梶 田 志 優	3C

	部 活 動 名	氏 名	年・組
20	卓 球 女 子	高 野 遥	3F
21	柔 道 男 子	木 田 凪 海	3A
22	剣 道 女 子	長 澤 眞	3C
23	剣 道 女 子	富 田 愛 夏	3D
24	応 援	原 田 歩 実	3F
25	空 手 道 男 子	松 尾 秀	3C
26	空 手 道 女 子	杉 浦 真 帆	3A

文 化 ・ 生 産 系

	部 活 動 名	氏 名	年・組
27	吹 奏 楽	川 島 大 河	3E
28	書 道	平 田 翠 優	3C
29	茶 華 道	亀 山 紗 菜	3K
30	放 送	稻 川 実 咲	3K
31	珠 算	藤 川 優	3A
32	速 記	島 田 笑 里	3A
33	ワ ー プ ロ	日 比 麗 奈	3K
34	E D P	西 泰 輝	3E
35	簿 記	上 野 寧 音	3I
36	L O B	白 木 雪 乃	3K

商業って楽しい!!

3年C組 土田 響平

私たち3年C組は、今年で4回目となった「岐阜県商業達人カップ」に出場しました。

この大会は、上限金額7万円で、各学校の生徒が主体となり商品を仕入れ、売上高や利益率、接客力、企画力、PR動画の出来栄などを競う大会です。今年の大会には過去最多の10校が出場しました。私たちは、飛騨牛まるとさんのA4ランクの飛騨牛とサラダコスモさんの寄せ鍋野菜を仕入れ、2つをセットにして『飛騨牛すき焼きセット』にし、主力商品として販売することにしました。また、「すき焼きといえば米!でしょう」ということで、今井先生のご実家から岐阜ハツシモを仕入れさせていただくことにしました。また、POPや店舗作り、PR動画、SNSなどにも力を注ぎました。POPや店舗作りを考える班、PR動画を制作する班、SNSなどで広告する班の3つに分かれ、それぞれが取り組みました。POPと店舗作りでは、どうしたらお客様に商品が見やすくなるのか!どうしたら商品の魅力を伝えられるのか!を考えました。SNSでは、取り組みの様子を投稿したり販売する商品を投稿したりして、

たくさんの人に商品の魅力を伝えられるよう頑張りました。PR動画は、肉の競り会場に直接お邪魔して撮影し、こだわったものが出来上がりました。

そして迎えた当日、朝早くに集合して商品を搬入し、売り場作りがスタートしました。決められた時間の中で役割分担をし、何度も配置を変えたりしながら、商品の陳列や装飾を行い売り場が完成しました。そして、いよいよ販売開始!今までの販売実習で学んだことを生かし、1時間ほどで完売させることができました。結果は、なんと優勝!!2位の中津商業に利益率で大きく上回ったことが勝因でした。ただ、企画力や店舗づくりでは、中津商業に負けていて、まだまだ改善できる部分があったと思います。

今回いろいろな人と関わる中で、人との接し方や仕事に対するこだわりを学ぶことができました。

最後に、この大会に優勝できたのは関わってくださった全ての方々のお陰です。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

校誌「岐商」の

ホームページを

開設しました。

QRコード、

又は下記アドレスから

アクセスして下さい。



◎<https://gishogifushogyo.wordpress.com>

◎パスワード:Gisho

*「**県岐商だより**」は県岐商ホームページでもご覧いただけます。

最後にありがとうございました。県岐商だより」をご覧いただき、ありがとうございます。また発行にあたり、ご協力をいただきました。また、皆様に、心より感謝しお礼申し上げます。

4月からは、更に新しい目標に向かって、はじめての一步を踏み出す姿を想うと、感慨深い気持ちでいっぱいです。大きな希望を胸に顔晴ってください。いつでも見守り、応援しています。

3年生の皆さん、支えてくださいました全ての方々、ご卒業おめでとうございます。

研修活動委員長

村木 みどり

